

令和5年8月31日開会

令和5年第3回木曾岬町議会定例会

行政報告

町長

皆様、おはようございます。

本日、令和5年第3回木曾岬町議会定例会を招集しましたところ、議員の皆様には、早朝からご参集賜りまして、誠にありがとうございます。

今期定例会に上程いただきます議案は、各会計の補正予算案、条例の一部改正案、各会計の決算認定など、いずれも重要な案件でございます。

何卒、十分にご審議を、お願いいたします。

それでは早速ですが、議長の許可をいただきましたので行政報告をいたします。

初めに、去る7月12日、四日市大学と包括連携協定を締結いたしましたので、ご紹介させていただきます。

四日市大学と木曾岬町が、互いに有する人的・知的・物的資源を活用して、幅広い分野で連携および協力することにより、さらなる木曾岬町の発展を目指すことを目的に締結したものでございます。

連携および協力する主な内容としては、「まちづくり及び地域貢献に関すること」、「教育及び学術研究の推進に関すること」、「人材の育成に関すること」の3本を柱として、まずは、四日市大学の小林副学長に第6次総合計画の策定会議に携わっていただくほか、イベント等への学生の協力を仰ぐことから始め、今後は、必要に応じて双方が持つ資源を最大限に活用しながら、町民の皆様の声にしっかりと応えていける様な体制を整えていきたいと考えているところでございます。

次に、「国・県に対する要望活動について」でございますが、毎年、各省庁や関係機関への要望活動につきましては、

夏季と秋季要望があり、夏季要望について概要を報告させていただきます。

まず、町村会においては、財政基盤の充実強化を初め、各分野にわたる12項目と道路交通網の整備促進について、令和6年度の要望事項を三重県知事及び県議会議長へ要望いたしております。

また、道路・河川防災、治水砂防、港湾海岸、そして都市計画等、それぞれの協会を統合一元化した社会基盤整備協会として、国・県関係機関への要望・提言活動を行い、私は河川防災協会副会長として、木曾三川に係る課題について要望いたしました。

一方、木曾川下流河川事務所管内の3県4市1町で構成する、木曾三川下流改修工事ならびに同じく公園建設の両促進期成同盟会では、国土交通省に対して7月19日に、中部地方整備局、8月9日には本省と関係国会議員に要望し、更には、中部直轄河川 治水期成同盟会 連合会と共に、切迫する南海トラフ地震に備え、河川施設等の直轄事業の耐震対策に必要な予算の確保を、財務省主計官に要望いたして

おります。

更にその上で、木曾岬町は、木曾川下流河川事務所との事業調整連絡会議を6月20日に開催し、町の様々な事業の進捗や課題について情報共有や意見交換を行い、8月18日に木曾川下流河川事務所の大坪所長に、21日には中部地方整備局の高橋河川部長に、本町の安全・安心のための木曾川左岸堤の課題を要望いたしました。

翌日の22日には、国土交通省 水管理・国土保全局へ面談を申し入れ、廣瀬局長、河川計画課 森本課長、治水課 奥田課長、河川環境課 豊口課長、水資源部 中込部長、また、総合政策局 藤本企画専門官の他、調整官、分析官等、河川部局の主要な幹部・担当者に面談し、木曾川河口部 海拔ゼロ地帯の水郷輪中の町を守る安全・安心対策、特に危惧されるスーパー伊勢湾台風と高潮、南海トラフ地震と液状化及び津波対策について、木曾川左岸堤及び木曾岬干拓地の堤防は、木曾川と伊勢湾に面した最後の砦であり本町は勿論のこと、背後地に集積する日本経済をけん引する、ものづくり産業やエネルギー産業の企業群、名古屋市西部の人口密

集地を災害から守る最前線であることから、

「伊勢湾台風時における河川堤、輪中堤の決壊、伊勢湾の潮位と木曾川の水位、台風の進路と風、河川の左岸・右岸の波高と決壊状況等を検証し、加えて、流域に生きている先人の知恵を堤防整備に生かしていただきたい。」と耐震補強・地盤改良工事の必要性、伊勢湾臨海工業地帯と木曾川下流域の安全・安心対策を訴え、要望いたしました。

なお、廣瀬局長との面談には、参議院の山本佐知子議員ご本人と、吉川ゆうみ、中川康洋、石原正敬議員の秘書の同席をいただきました。

一方、道路問題についてであります。愛知県側の名古屋第三環状線の整備促進について、7月13日、弥富市の安藤市長と朝日県議会議員とともに、愛知県庁建設局長、都市・交通局長、並びに自民党愛知県議員団の川嶋太郎団長へ要望活動を実施し、全線の早期完成を要望いたしました。

引き続き関係機関と調整を進め、治水事業や道路事業などの整備促進に向け、全力を尽くして行きたいと考えているところでございます。

以上のことを申し上げまして、行政報告と致します。